

# 令和2年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第1号(4月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和2年3月12日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	平年並か多い

○4月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠（基本は調査結果による）
		3月の発生量 （平年比）	3月からの増減	4月の発生量 （平年比）	その他、気象要因等あれば記載
さとうきび	① メイチュウ類 （カンシャシンクイハマキ）	並	↗	並	芯枯莖率の平年の発生量の推移（↗）
	② メイチュウ類（イネヨトウ）	並	↗	並	芯枯莖率の平年の発生量の推移（↗）
	③ カンシャワタアブラムシ	（発生なし）やや少	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（温州かんきつ）	① かいよう病	やや多	→	やや多	今後1か月の降水量が平年並か少ない見込み
	② そうか病	多	↗	多	平年の発生量の推移（↗）
	③ ハダニ類	（発生なし）並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（タカンカキ）	① かいよう病	並	→	並	今後1か月の降水量が平年並か少ない見込み
	② そうか病	（発生なし）並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ アブラムシ類	（発生なし）並	↗	並	新梢の発生量が増加するため
	④ ミカンハモグリガ	（発生なし）並	↗	並	新梢の発生量が増加するため
	⑤ ハダニ類	（発生なし）並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み
キャベツ	① コナガ	並	-	-	



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○4月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠（基本は調査結果による）
		3月の発生量 （平年比）	3月からの増減	4月の発生量 （平年比）	その他、気象要因等あれば記載
か ば ち ゃ	① モザイク病	並	-	-	
	② うどんこ病	並	-	-	
	③ アブラムシ類	並	-	-	
	④ ハモグリバエ類	多	-	-	
	⑤ タバココナジラミ	多	-	-	
（ ゴ ー ヤ ー ） 施 設	① 斑点病	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	② ミナミキイロアザミウマ	やや多	↑	やや多	つる先当たり成虫数が平年よりやや多いため 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	③ アブラムシ類	やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移（↓）
（ ピ ー マ ン ） 施 設	① うどんこ病	並	↑	並	平年の発生量の推移（↑） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	② ハダニ類	（発生なし）並	↑	並	平年の発生量の推移（↑） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
（ ト マ ト ） 施 設	① 黄化葉巻病	（発生なし）並	↓	並	平年の発生量の推移（↓） 媒介虫（コナジラミ類）の発生量が増加する見込み
	② うどんこ病	並	↑	並	平年の発生量の推移（↑）
	③ コナジラミ類	並	↑	並	平年の発生量の推移（↑）
	④ ハモグリバエ類	やや多	↑	並～やや多	平年の発生量の推移（↑）



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○4月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠（基本は調査結果による）
		3月の発生量 （平年比）	3月からの増減	4月の発生量 （平年比）	その他、気象要因等あれば記載
ん さ （ や 平 い 張 ん し げ	① ミナミキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② ハダニ類	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移（↘） 今後1か月の気温が平年より高い見込み

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さ と う き び	ツマジロクサヨトウ	3月のフェロモントラップで本種雄成虫が捕獲されているため、定植時に粒剤の株元散布する。 なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
マ ン ゴ ー	炭そ病・軸腐病・すす点病	出蕾期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

# 令和2年度 宮古群島 病害虫発生予報 第1号(4月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和2年3月12日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	平年並か多い

○4月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠（基本は調査結果による）
		3月の発生量 (平年比)	3月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	並	↗	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み
	③ メイチュウ類 (イネヨトウ)	並	↗	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み
マンゴー	① ハダニ類	並	↗	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み
かぼちゃ (1月植え)	① モザイク病	並	-	-	
	② うどんこ病	並	-	-	
	③ 細菌病	並	-	-	
	④ アブラムシ類	(発生なし)並	-	-	
とうがん	① うどんこ病	並	↗	並	栽培後期にあたり草勢が低下するため
	② ミナミキイロアザミウマ	やや多	↗	やや多	今後1か月の気温が平年より高い見込み
	③ タバココナジラミ	並	↗	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み
	④ ハダニ類	並	→	並	



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○4月の発生予報つき (宮古群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠 (基本は調査結果による)
		3月の発生量 (平年比)	3月からの増減	4月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
ゴーヤー (施設)	① うどんこ病	並	↗	並	栽培後期にあたり草勢が低下するため
	② 斑点病	並	↘	並	
	③ ミナミキイロアザミウマ	多	↗	多	今後1か月の気温が平年より高い見込み
	④ タバココナジラミ	(発生なし)並	↗	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み

○その他注意すべき病害虫 (宮古群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	ツマジロクサヨトウ	3月のフェロモントラップで本種雌成虫が捕獲されているため、定植時に粒剤の株元散布する。 なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
	カンシャワタアブラムシ	3月上旬の調査結果では、宮古島における寄生率は0.0%であった。 しかし、防除員報告によると宮古島の一部ほ場において発生情報あり。 ・本種は秋期に飛来した有翅虫が第一世代となり、数世代にわたり増殖して春期の大発生を引き起こす。 ・葉裏をよく確認し、発生が見られる場合は2～3月までに初期防除を行う。 ・多発時は有翅虫が絶えず移動分散するため、一斉防除を行うことが望ましい。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	出蕾期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

# 令和2年度 八重山群島 病害虫発生予報 第1号(4月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和2年3月12日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	平年並か多い

○4月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠（基本は調査結果による）
		3月の発生量 （平年比）	3月からの増減	4月の発生量 （平年比）	その他、気象要因等あれば記載
水 稲	① スクミリングガイ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② イネミズゾウムシ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
さ と う き び	① メイチュウ類（カンシャシクイハマキ）	やや多	↗	やや多	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↗）
	② メイチュウ類（イネヨトウ）	やや多	↗	やや多	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↗）
マン ゴー	① ハダニ類	（発生なし）並	→	並	平年の発生量の推移（→）
（ゴ ー ヤ ー ） 施 設	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② 斑点病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ ミナミキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④ タバコナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
か ぼ ち ゃ	① モザイク病	並	-	-	
	② うどんこ病	やや多	-	-	
	③ 細菌病	やや多	-	-	
	④ アブラムシ類	やや多	-	-	
	⑤ ハモグリバエ類	並	-	-	

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さ と う き び	ツマジロクサヨトウ	3月のフェロモントラップで本種雄成虫が捕獲されているため、定植時に粒剤の株元散布する。 なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
マン ゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	出雷期から感染が確認されているので、登録農薬によるスケジュール散布を行う。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

向こう1か月の天候の見通し  
沖縄地方（3月14日～4月13日）

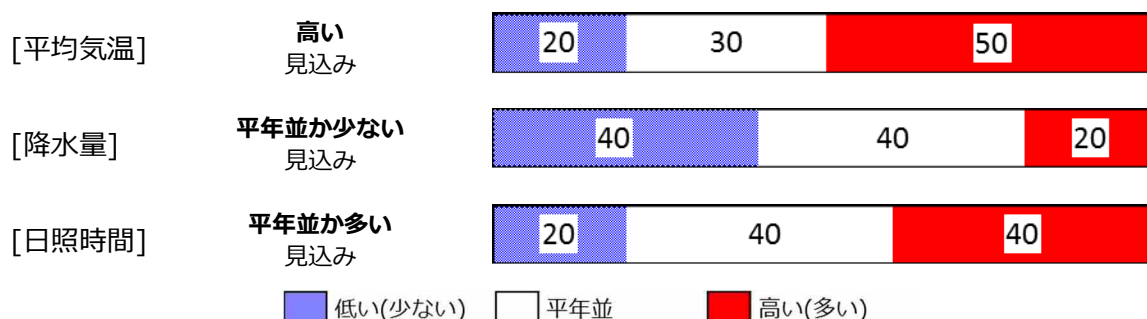
○ 気象予報のポイント

- 向こう1か月の天候は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は高いでしょう。期間の前半は気温の変動が大きく、2週目は気温がかなり高くなる可能性があります。
- 気圧の谷や湿った空気の影響を受けにくく、高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。



気象庁マスコットキャラクター  
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

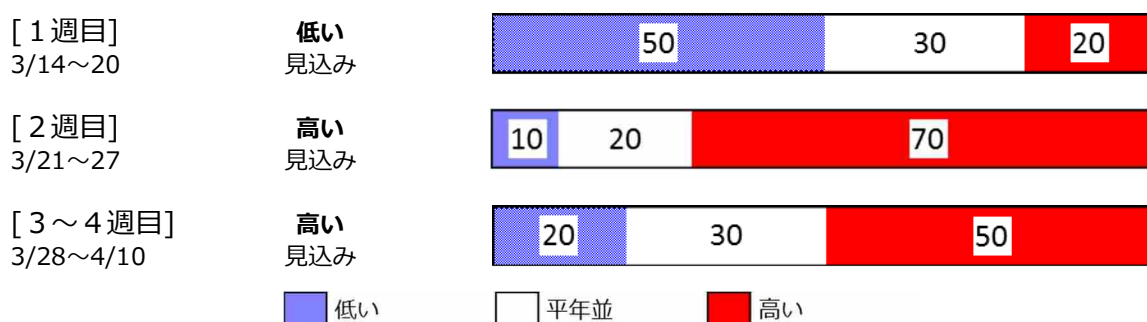


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.2～+0.3℃	平年比：82～109%	平年比：88～107%
那覇	19.6～20.3℃	110.9～176.1mm	87.4～107.7時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.3～+0.7℃	平年差：-0.4～+0.7℃	平年差：-0.4～+0.3℃
那覇	18.8～19.7℃	19.3～20.4℃	20.1～20.7℃

- ※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。
- ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



## 沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>

本 所 〒902-0072 那覇市字真地123  
TEL 098-886-3880 FAX 098-884-9119

宮古駐在 〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内)  
TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474

八重山駐在 〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内)  
TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157